2007年度第Ⅰ期未踏ソフトウェア創造事業

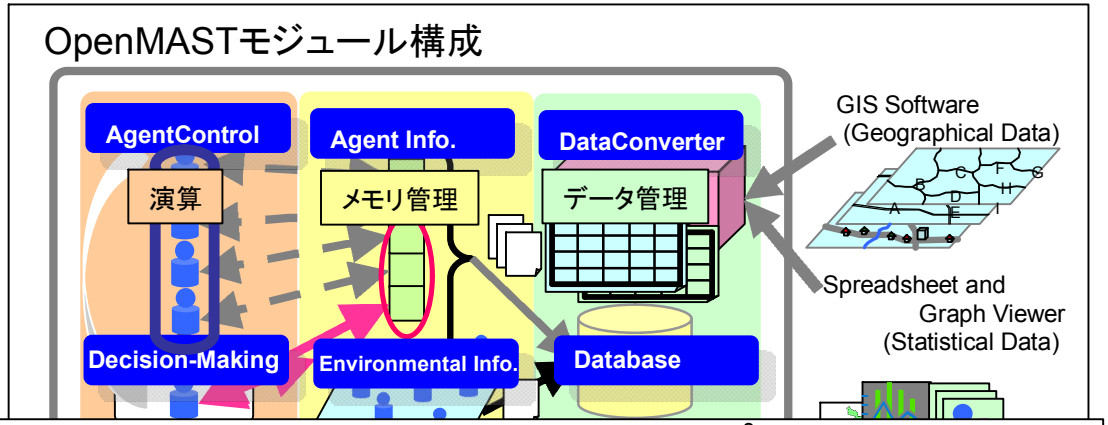
大規模社会シミュレーションを支援するツールキットの開発

開発者：蟻川　浩，森下　仙一 (関西大学)

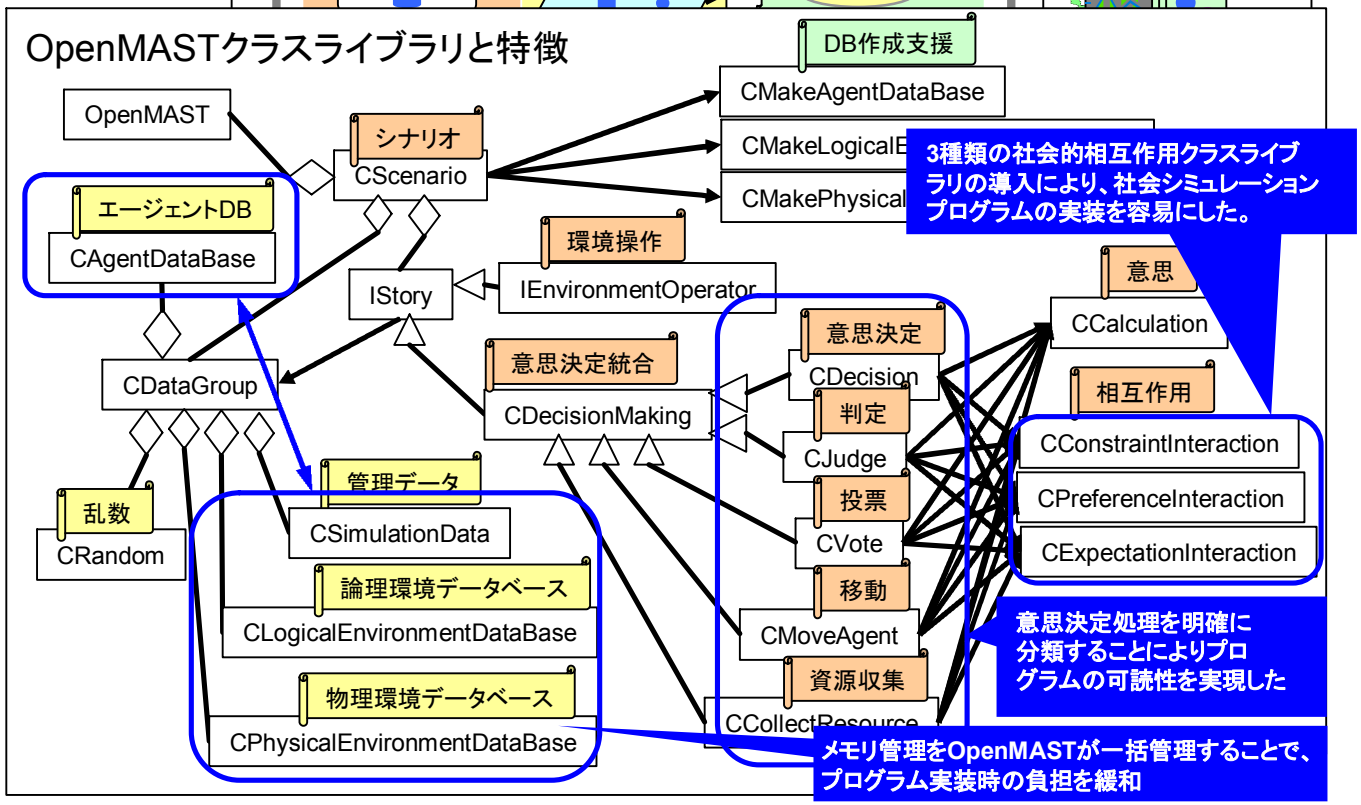
背景

マルチエージェントシミュレーションに基づく政策立案向け大規模社会シミュレーションツールキットの必要性

プログラム開発および改良が容易で、かつ中核市(30万人規模)のエージェントシミュレーションを実現する “OpenMAST” を開発



OpenMASTがもたらす効果

メモリ管理およびデータ管理モジュールの提供により、大規模シミュレーションプログラム実装時の負担(特に、メモリ確保とデータ入出力部分)を緩和できる。

モジュール化およびクラスライブラリの整理により、シミュレーションモデルの議論に注力できる。